

氏名	押野 修司	部署	作業療法学科	職名	講師
研究分野	発達障害に対する作業療法、身体教育学				
学位	修士(リハビリテーション)				
学歴	1991年専門学校社会医学技術学院作業療法学科、2003年筑波大学大学院教育研究科、2017年首都大学東京大学院人間健康科学研究科単位取得満期退学				
経歴	1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師				
所属学会(役職)	日本作業療法士協会(事例登録制度A審査員)、埼玉県作業療法士会(機関誌編集委員)、特定非営利活動法人動物介在教育・療法学会(理事)、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(会計担当)				

### 【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	該当なし				
(3) 学会発表					
1	通級指導教室における児童の全身反応時間と協調運動技能の関連に関する予備的研究	単著	第50回日本作業療法学会、札幌市	○押野修司	2016.9
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	協調運動に困難を示す学童に対する伝承遊びの指導とその効果(研究代表者)			2016.4~2018.3
2	羽立工業株式会社 共同研究	健康づくり支援事業におけるヘルス・リテラシー向上支援に関する研究(研究分担者)			2016.8~2017.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	発達期作業療法学	2016.4~7	定型発達(運動、認知、社会性、ADL)はを動画教材を併用し講義を行った。対象となる主な疾患および障害の定義、問題点、治療についてグループワークによるアクティブラーニングを行った。		
2	生活環境技術学	2016.10~12	学生の視野を広げるため、グループワークにより、自助具デザイン、新規事業などを、学生の目線から発表するというアクティブラーニングを行った。		
3	小児保健看護学	2017.1	小児期の成長発達の遅れを理解するために、小児期の障害と補助具の使用及び支援について講義を行った。		
(2) 演習					
1	臨床作業療法演習	2016.11~12	学生が臨地実習に必要なADL指導(更衣)の演習とOSCEの1ブースの評価を担当した。		
2	生活環境技術学演習	2016.12~2017.1	コミュニケーション分野の支援技術、WindowsOSのアクセシビリティ機能の実習、コミュニケーションボードの作成を行う。		
3	卒業研究ゼミナール	2016.10~2017.1	「卒業研究」が円滑に進められるように、手引きの作成、ゼミ配置、卒業研究の進捗管理、卒業研究計画発表会の企画運営を行う。		
4	作業療法記録報告法	2016.10-12	作業療法の記録報告に関する事項を学び、動画教材を用いて実際に観察した内容を、事実と考察に分けて記述できるように演習を行った。		

(3) 実習			
1	基礎作業学実習	2016.10～12	臨床現場でよく用いられる作業について実習を行い、活動分析および作業分析を実施した。
2	作業分析学実習	2016.11～12	実際に革細工による小銭入れ作りの作業実習を行い、作業実施に必要な道具、工程、要求される機能などの活動分析を実施した。
3	発達期作業療法学実習	2016.5～7	情報収集、観察、面接、発達検査について講義し、子ども、保護者との関わり方を学生に示し指導し、観察記録の書き方についても添削、指導した。
4	IPW実習②	2016.10	学生が自らの専門性に気づき、また他の専門性を尊重し、4日間のケアプラン作成過程を体験し、チーム形成を学ぶ支援を実施した。(入間東地域)
5	臨地実習 I-1	2017.2～3	2年次生を対象に、3名の学生の身体機能領域の臨地実習指導を行った。期待していた以上の学習効果を得ることができた。
6	臨地実習 II	2016.4～8	4年次生を対象に、身体機能領域(3名)および精神機能領域(2名)の臨地実習指導を行った。期待した以上の学習効果を得ることができた。
(4) 論文指導			
1	卒業研究(学部学生)	2016.4～2017.3	4年生4名、3年生6名の研究計画、研究協力依頼、実施、論文執筆、発表、倫理委員会への申請書類の書き方について指導を実施した。
(5) その他			
1	「第6回学生政策提案フォーラムinさいたま」の学生支援	2016.7～11	指導教員として学生の指導を行い、最優秀賞を受賞した。
2	4年次生の担任	2016.4～2017.3	15期生の担任として、ガイダンス、個別面談、就職相談、休学相談、PTOT合同就職説明会、学科卒業式などを企画・実施した。42名卒業した。
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	該当なし		
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	狭山市 福祉こども部 保育幼稚園課	狭山市公立保育所巡回指導の講師	2016.4～2017.3
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	地域産学連携委員会		
2	地域専門職連携推進部会		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		